



日本共産党 区議会議員

石田ちひろ

日本共産党品川区議団控室
TEL 5742-6818

2011年 5月15日
ちひろニュースNo.15

国民の反核平和の願いを世界大会へ！

～国民平和大行進 歩き続けて53年～

今年も、国民平和大行進に参加し、非核平和都市宣言をもつこの品川で、皆さんと、核兵器廃絶・私たちの未来に戦争はいらない！と訴えてきました。東日本大震災が復興に向かおうとするもとの国民平和大行進と原水爆禁止世界大会です。

国民平和大行進でなげなげに？

『広島・長崎をくりかえさせるな』の原水爆禁止の要求を訴えながら、一日も休まずに歩き続ける行動です。

第一回平和行進は、1958年6月20日に、広島の前から、8月に東京で開かれる第4回原水爆禁止世界大会をめざして出発。

この行進が行われた背景には、核兵器を公然に持ち込むことを容認していた旧安保条約のもとで、原水爆



禁止の世論に押されて、日本政府が「協議なしでは持ち込ませない」と反発。しかしアメリカは従来どおり核自由を持ち込みを要求し、日本政府に圧力をかけ、日米安保条約の改定交渉が始まる…という状況にありました。

『歩く』という素朴な姿に共感が広がり、2年目の平和行進には、のべ1千万人以上の参加で、文字通り大行進となりました。

被災地支援・原発総点検

この大行進は、原水爆禁止世界大会が開催される、広島・長崎に向けて全国各地からスタートします。

広島や長崎に原爆が投下されたとき、熱線や熱風で多くの命が奪われました。そして広島や長崎の人々を更に苦しめたのが、放射能汚染でした。

“被爆者・被爆地”と、長い間差別にも苦しんできました。

今、福島県で起きていることも同じではないでしょうか。南相馬や、浪江町から、放射線被害を逃れて、品川に避難をされた方もいます。

ウラへつづく

「ほんの少しでいいから家に戻りたい。取ってきたいものもたくさんある。」と切実に語ります。

しかし、まだまだ近づける状況ではありません。

この平和大行進の実行委員会は、多くの被災された皆さんへのお見舞いと、救援・復興に取り組む人たちへの敬意と連帯の意を表明し行われています。

私たちが直面している問題は、自然災害や環境問題、格差と貧困などたくさんあります。これらを解決していくためにも、危険な核兵器の全面禁止を大きく前進させ、その資源を軍備や戦争から、私たちの福祉へと振替させることが必要です。

原子力行政を見直し、自然エネルギーへ切り替えていく。私たちがこの品川で元気に暮らして、営業をしていくことが復興にもつながると思います。



平和大行進 鈴が森近くの広場にて

私も、選挙で訴えた公約を実現させ、暮らし・福祉・営業を守るため、全力で頑張ります。

非核平和都市宣言とは

非核平和都市宣言は、世界規模での核兵器廃絶と平和活動の推進を地方自治体が宣言をするというもので、品川区は『非核平和都市品川宣言』を、1985年に制定しました。

『核の脅威が深まりつつある今日、33万人区民の恒久平和と、核兵器廃絶の願いを全世界にアピールするとともに、その実現に寄与することを内外に表明する』と制定されました。

核兵器廃絶へ、語り継ぎたい

原水爆禁止、被爆者救援、世界の平和の実現をめざす世界大会です。

1955年に、広島で開催されて以来、毎年広島・長崎で開催されています。

私も、何度か参加していますが、日ごろの暮らしの中で、毎日平和を考えることはなかなかできません。だからこそ、こうい

う時にしっかり考え行動することは、とても貴重な時間です。

原爆の恐怖を経験した方からの話や、原爆資料館などでわかる実態など、被爆国日本の私たちが知っておかなければいけないことがたくさんあります。しかし、それを伝えてくれる被爆者の方々は高齢です。

「時間がない…」と言います。もっと伝えなければという必死な思いが伝わります。

この思いを引き継ぐ若い世代のみんなと、私も伝え続けていかなければ…皆さんも一緒に参加しませんか？

今年もまた、8月6日、9日を中心に開催されます。核兵器廃絶…簡単なことではないですが、引き継がれていくこの運動をねばり強く進めていきたいです。

●生活相談は随時受け付けています。

●日本共産党品川地区委員会が主催する「無料法律相談」を、月に一度、石田ちひろ事務所で行っています。弁護士さんが丁寧聞いてくれます。5月は23日・18時です。お気軽に電話連絡ください。